

2026年度 市立函館高等学校 シラバス							
教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任		
家庭	保育基礎	2	3年次選択		橋本 晃子		
使用教科書	保育基礎 (実教出版)		使用副教材	保育基礎 学習ノート (実教出版)			
科目の目標					道徳教育のねらい		
<p>保育の意義や方法、子どもの発達と生活の特徴、子どもの福祉や文化について理解し、関連する技術を身につけ、保育や子育て支援に寄与する資質・能力を養う。</p> <p>子どもへの理解を深めるとともに、子どもの健全な成長のために果たすべき社会の役割や、社会の一員としてより良い生活環境のあり方を考える力を育む。</p>					<p>社会変化の現実と向き合いながら、人間が生まれてくることの意味や成長の中で乗り越えるべき課題について考える。また、いのちを産み育てる責任と人権を尊重することの大切さを</p>		
育てたい6つの力 (資質・能力)							
学習活動内容		1	2	3	4	5	6
		主体的学習力	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・協働能力	計画実行力
1	発達と乳幼児期の意義	○	○			○	
2	発達と保育環境	○	○		○	○	
3	子どもの発育	○	○	○	○		
4	子どもの精神発達	○	○				
5	人間関係の発達	○	○		○		
6	生活と養護	○	○	○		○	○
7	子どもの遊び (製作を含む)	○	○	○			○
8	生活習慣の形成	○	○	○	○		
9	健康管理と事故予防	○	○		○	○	
10	子どもの食生活 (実習含む)	○	○	○	○		○
11	保育の意義と重要性	○	○	○			
12	家庭保育と集団保育	○	○		○	○	○
13	子どもの福祉と子育て支援	○	○				
14	グループワーク	○	○	○	○	○	○
15	チェックテスト	○	○	○			○
16							
17							
18							
19							
20							
評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現		技能			
	保育に関する基礎的・基本的な技術を総合的に身につけている。子どもの発達の特徴、生活と保育に関する知識を総合的に身につけているか。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で課題を見つけ、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけているか。		子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的に学習に取り組む、子どもの健やかな発達や保育に寄与していることとする実践的な態度を身につけているか。			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	課題への取組	課題の完成度	実習		
	関心・意欲・態度	◎	◎	○	○		
	思考・判断・表現	○	◎	○	○		
	技能	○	○	◎	◎		
知識・理解	○	○	○	○			

保育基礎 授業計画

授 業 計 画

	月 (時数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)
前 期	4月	1章 子どもの保育 (3時間)	・保育の意義と重要性について、幼稚園教育要領や保育所保育指針を取り上げながら扱い、保育が人間形成にどのようにかわるかを考える。	・オリエンテーション ・保育とは(1) ・保育の意義(2) ※chromebookを通年使用します。
	4月 5月 6月	2章 子どもの発達 (17時間)	・乳幼児期は人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個性といった特性があることを理解する。 ・乳幼児期の身体的特徴と生理的特徴をとらえ、新生児期～乳幼児期へと続く人の発達の過程を理解する。	・発達と保育(7) ・子どものからだ・こころの発達(6) ・人間関係の発達(4) ・確認問題 ・折り紙実技①
	7月 8月 9月	3章 子どもの生活 (14時間)	・乳幼児の生活の特徴を学び、発育発達に応じた養護の必要性を知る。 ・子どもが心身の健康を保つための保育の技術を身につける。 ・生活習慣形成の意義と重要性を理解する。	・生活と養護(4) ・子どもの遊び(製作含む)(10) ・確認問題 ・折り紙実技②
後 期	10月 11月	3章 子どもの生活 (18時間)	・日常の健康状態の観察など、乳幼児の健康を守るための保護者の役割を理解する。 ・基本的生活習慣と社会的な生活習慣の意義と重要性を理解し、子どもの発達に即した適切な生活習慣とその援助について考察する。 ・乳幼児の成長段階における事故の実態と原因などを学習し、安全教育のために保育者がつとめなければならないことを理解する。	・生活と健康(5) ・健康管理と事故予防(2) ・子どもの食生活(実習含む)(11) (離乳食、おやつ等) ・確認問題 ・保育実習～2回程度:12月まで ・絵本製作
	12月 1月	4章 子どもの文化 5章 子どもの福祉 (8時間)	・現在の保育をめぐる問題を取り上げ、高校生として保育を学ぶ意義を理解する。 ・子どもの福祉に関心を持ち、児童福祉の理念や法律と制度について理解する。 ・乳幼児は遊びを通して発育発達することを理解し、保育者が発達に合わせて遊びを働きかけることを学ぶ。 ・保育の場としての家庭保育と集団保育があることを知り、それぞれの特徴や役割があることを学ぶ。子どもの成長発達に両方が必要であることを理解する。	・保育の意義と重要性(2) ・ペーパーアート ・家庭保育と集団保育(2) ・保育の方法(2) ・子どもの福祉と子育て支援(2) ・確認問題